

2012 年度活動報告

WE21 ジャパンいずみの今年度の特筆すべき活動は、神奈川県指定 NPO 法人を取得したことです。NPO が 4 万団体に増えたことは喜ばしいものですが、市民から NPO への信用はまだ低く、信用に値する NPO の差別化も必要になってきました。年度方針で、県の指定 NPO 取得を決定し、それに向けて動き、12 月の県議会で承認されたことは、WE21 いずみにとって大きな飛躍となりました。

また、韓国の慶尚南道の地域自活センターと「事業協定」を締結しました。アジアの国でネットワークを築いてきた実態を形にできたことは、大いに評価に値します。

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1) セールなどのイベントの開催

3 店舗ともに連携しながらセールやイベントを実施しました。今年度の事業総額は前年にはわずかに届きませんでした。16,379,261 円でした。この総額は、いずみの街に新たな経済を生み出していると言えます。

またボランティア総延べ人数は 2,083 人、提供 5,002 件、客数 21,675 人となり、3 ショップ事業に係る人は延べ約 28,000 人でした。

① 中田店

中前半は売上げ横ばい、後半に入り上昇傾向となりましたが、年間の目標額には、わずかに及びませんでした。しかし、セールやフェアなどの企画は、一年を通じて、スタッフ・ボランティアの合意の下、適宜実施でき、協力体制も確認できました。また、多くのボランティアの語りかけで、福島支援グッズやフェアトレード品の売上げ向上につながり、成果が得られました。

売上：6,628,966 円（前年比 99.8%）

② 領家店

常にボランティアの協力のもとに、ショップ店内の整理整頓を保つことができましたが、前年売上には達しませんでした。しかし、新しいボランティアも増え、また廃油の回収など地域に周知されてきました。また、3 月の看板をリニューアルした結果、事業の相乗効果となりました。

売上：4,890,173 円（前年比 96.9%）

③ 萩丸店

ショップ店内を見やすくするように常に心がけましたが、セールなどの開催日が雨に降られることが多く、前年割れになってしまいました。トレード品については、語ってもなかなか購入には結びつかないことが課題となりました。しかし、新しくボランティアも増え、次年度に期待をしたいと思います。

売上：4,860,112 円（前年比 93.3%）

2) 物流システムの整備

比較的提供品の多い萩丸が物流の役目を担い、2店舗に提供品を循環させて、提供品の有効利用を図りました。

3) ショップごとのスタッフミーティング及びボランティアミーティングによる共通認識と事業推進

3店舗ごとのスタッフのミーティングは随時開催されて課題を共有しました。

また、ボランティアミーティングも開催してショップ運営の共有化を図りました。

(別紙参照)

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業
支援については、支援チームで評価点検を行い、事業性を検討して運営委員会で決定しました。

(今年度の支援実績については別紙参照)

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

1) キャンペーンを開催しました。

① 思いを馳せるキャンペーン (視点：世界の貧困について学ぶ)

10月19日に開催しました。今年度もJVCアフガニスタンの教育に支援するために、JVCのスタッフと一緒に3店舗で映像、ナンづくりなどをして、アフガニスタンの実態に触れました。19日の売り上げと募金の計10万円を支援することが出来ました。

② 世界とつながるキャンペーン

(視点：カンボジア、フィリピンなどの支援先を知る)

フィリピンのキャンペーンをして、支援先の情報などのチラシを作成し、配布しました。今後は、セールばかりのショップになることが懸念され、今後の継続については課題となりました。

③ 東日本震災キャンペーン (視点：震災・津波・原発被害を知る)

忘れ去られようとしている3・11に想いを馳せるために、3月に「忘れないキャンペーン」をし、11日の売上と店頭募金をNPO法人ふくしま支援・人と文化ネットワークの天草保養事業に支援をしました。

④ 愛のチョコキャンペーン

(視点：放射能などを含めた核と子どもの影響について知る)

12月から取り組みましたが、昨年に比較してメディアで取り上げることも少なくなり、その結果昨年と比較して販売に苦戦しました。次年度は対策が必要です。

* 300個販売：15万円

2) 講座の開催

今年度は以下の講座を開催しました。

5月 支援先のIYAMAN代表クリスティーヌさんによる現状報告

- 6月 JVCカンボジアスタッフ現地報告（若杉さん、坂本さん）
- 8月 神奈川から二つの核にNO!（平和政策チーム 山中悦子さん）
- 11月 JVCカンボジアスタッフ現地報告（若杉さん、樋口さん）

3)スタディツアーの参加

支援をしている以上、支援先を訪問し、見て、感じたことを伝えることは、WE21 いずみに共感を広める大事な事業です。今年度は、活発に実施できました。

①他の地域NPOと連帯してスタディツアーを実施し、支援先の現状を見てきました。

1月 カンボジアスタディーツアー（参加者：芝宮、郡司）

②今まで連携のあった韓国の市民団体と交流を図るために、韓国ツアーを実施しました。また、地域自活センターから事業協定の申し入れがあり、調印をしてきました。

11月 慶尚南道地域自活センター訪問と交流（参加者：8人）

③WE21の企画する「東日本震災復興ツアー」に参加し、現地の農業支援と交流を図りました。

3月 いわきオリーブ事業援農ツアー（参加者：石川、郡司）

4. 事業の広報普及を図る事業

1)ショップちらし

3店舗ともに、随時ショップ事業に関するチラシを作成し、配布しました。

2)広報紙

今年度は会員ニュースをリライトして広報紙として3回配布しました。

3)ホームページ作成

県指定NPOの取得は、情報を開示しなければなりません。そのために課題であったホームページを開設し、独自のニュースを常に掲載しました。

5. 組織活動

1) 会員・寄付金収入

会員 目標60人でしたが、52人とどまりました。

寄付金収入 36,000円

2)神奈川県指定NPOを取得しました。

3)今年度も中田中と汲沢中から中学生が職業体験としてショップでボランティアをしました。また、中田店では就労支援として2人を受け入れました。

4)今年で3回目の「WEまつり in いずみ」を開催しました。このイベントは、萩丸の移転をきっかけに、多くの人に知ってもらう目的でしたが、この目的は一応達成したと点検して、今年度限りとすることになりました。

5)陽だまりは、講座、他の地域NPOとの会議、お茶の会など、有効に活用されました。

6) 韓国の慶尚南道の地域自活センターと「事業協定」を締結しました。